

令和5年度 十日市場地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

新規		継続	—具体的な取組内容—
<p><input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性</p> <p>十日市場地域は「新治西部」「十日市場団地」の2連合自治会があり、新治西部連合地域内の「新治町」「十日市場町」「後谷」の3単位自治会は、その特徴が大きく異なります。例えば多世代家族が残る「新治西部地区」と、一人暮らし高齢者の多い高層マンションの「十日市場団地地区」では、地域ケア会議・地区別計画等で取り上げられる課題に違いがあります。しかし近年「孤立への対応」という共通の課題が浮き彫りになりました。この課題に対して地域ケアプラザの役割は「独居者の孤立死防止」「認知症高齢者への見守り」の為にネットワーク構築。その一つとして「地域のいばしょ」作りを具体的に進め、複数の小さなコミュニティを形にしていきたいと考えます。</p>			
<p><input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組</p>			
新規		継続	—具体的な取組内容—
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		前年度までに作成していた、ケアプラザの連絡先を記載したカード(名刺サイズ)に加えて、ケアプラザ(包括)クリアファイルを作成し、高齢者に限らず地域住民に広く配布していく。 「『ひとりぼっちにさせないために』チェックリスト」を掲載し、気になる高齢者に気付いた場合、ケアプラザに相談しやすい基盤を醸成する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		継続して認知症予防と介護予防を目的とした「元気のわ」を概ね月2回開催予定。スリーAやフレイル予防講座等を組み合わせ、地域住民が主体的に認知症予防、介護予防の活動ができるよう働きかける。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		ケアマネサロンを隔月(偶数月第3火曜日15~17時)に開催をすることで、ケアマネ同士のつながり作り、気軽に相談できる環境作りを行い、事業所内だけでなく外部のケアマネジャーのケアマネジメント力の向上に寄与する
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		「緑区版エンディングノート」のDVDを活用した講座を地域向けに開催する。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		近隣施設と協働し、楽しみながら負担感の少ない地域住民同士の支え合いができる居場所を作っていく。
<p>◆ 事業報告・事業実績評価</p>			
<p><input type="checkbox"/> 振り返り</p>			
<p><input type="checkbox"/> 区からのコメント</p>			

令和5年度横浜市十日市場地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	職員の公正・中立性の確保は、法人理念に基づき、毎朝・定例会議の場で確認しています。相談を受ける際は常備してある、ガイド・ハートページ・サービス別ファイル資料を用い複数提示します。利用者・家族の要望希望を大切にします。	事故防止／ヒヤリハット報告を各会議で共有し、「事故防止委員会」のヒヤリハット分析を職員に周知し事故防止に努めます。個人情報保護／毎年全職員に研修を実施、誓約書を提出。書類送付等は規定に基づき複数チェックをします。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	三職種が連携、介護予防プランの委託先事業所と情報共有をし、利用者の生活の質的向上とその自立に向けた支援に努める	利用者の在宅生活が長期的に行えるよう「利用者第一」の方針のもと、その支援に努める。ハラスメント防止への取り組みを進め、働きがいのある職場環境を作る。BCP事業継続計画に沿って、感染対策、非常災害対策の取り組みを進める。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	・社会福祉士1名・保健師等1名 ・主任介護支援員1名・介護予防プランナー2名 <5名体制>	・常勤管理者兼務1名 (主任介護支援専門員兼務) ・常勤専従2名(内1名主任介護支援専門員)
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	認知症、引きこもり、独居の方が毎日を笑顔で過ごせるよう、個々の課題に向き合う支援を基本とします。		
実施体制	【実施日数】 308日 【提供時間】 9時45分～15時45分 【定員】 34名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	【その他料金】 昼食代:800円(おやつ代込み)	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	管理者:1人(生活相談員兼務) 生活相談員:2人(介護員兼務) 介護員:13人(2人は相談員兼務) 看護師:6人(機能訓練指導員) 調理員:5人		
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和5年度「横浜市十日市場地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,291,693		19,291,693		19,291,693	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	2,683,000		2,683,000		2,683,000	
収入合計	21,974,693	0	21,974,693	0	21,974,693	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,073,062	0	13,073,062	0	13,073,062	
本俸	9,160,000		9,160,000		9,160,000	正職員本給・非常勤職員給与
社会保険料	1,573,062		1,573,062		1,573,062	社会保険・労働保険
手当計	2,220,000		2,220,000		2,220,000	職員諸手当・賞与
健康診断費	120,000		120,000		120,000	健康診断料
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額			0		0	
その他			0		0	
事務費	1,100,000	0	1,100,000	0	1,100,000	
旅費	50,000		50,000		50,000	研修等旅費交通費
消耗品費	300,000		300,000		300,000	事務消耗品費等
会議謝金	50,000		50,000		50,000	会議用お茶代等
印刷製本費	50,000		50,000		50,000	
通信費	170,000		170,000		170,000	NTT・携帯電話・ネットプロバイダ・郵便代
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	200,000		200,000		200,000	
図書購入費	20,000		20,000		20,000	
施設賠償責任保険	20,000		20,000		20,000	
職員等研修費	100,000		100,000		100,000	研修研究費等
振込手数料	10,000		10,000		10,000	銀行振込手数料
リース料	50,000		50,000		50,000	AEDリース・複合機リース
手数料	10,000		10,000		10,000	
地域協力費	30,000		30,000		30,000	自治会費等
その他	40,000		40,000		40,000	職員被服費
事業費	200,000	0	200,000	0	200,000	
運営協議会経費			0		0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	158,000		158,000		158,000	
その他	42,000		42,000		42,000	運営協議会経費
管理費	7,127,631	0	7,127,631	0	7,127,631	
光熱水費	3,640,000		3,640,000		3,640,000	
清掃費	1,529,631		1,529,631		1,529,631	
機械警備費	100,000		100,000		100,000	(セコム)
設備保全費	721,000	0	721,000	0	721,000	
空調衛生設備保守	510,000		510,000		510,000	(六華)
消防設備保守	41,000		41,000		41,000	(六華)
電気設備保守	48,000		48,000		48,000	(六華)
害虫駆除清掃保守	20,000		20,000		20,000	(六華)
駐車場設備保全費	62,000		62,000		62,000	(六華)
その他保全費	40,000		40,000		40,000	(六華)(横浜エレベーター)(パナソニックEWエンジニアリング)
共益費			0		0	
その他	1,137,000		1,137,000		1,137,000	ゴミルート回収
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算;指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	21,974,693	0	21,974,693	0	21,974,693	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	158,000	0	158,000	0	158,000
自主事業 収支	△ 158,000	0	△ 158,000	0	△ 158,000

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和5年度「横浜市十日市場地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	24,609,504		24,609,504		24,609,504	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	0		0		0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,868,500		5,868,500		5,868,500	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			1,736,000		1,736,000	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	1,736,000		1,736,000		1,736,000	利用料の活用
収入合計	32,368,004	0	32,368,004	0	32,368,004	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	28,582,800	0	28,582,800	0	28,582,800	
本俸	19,802,800		19,802,800		19,802,800	正職員本給・非常勤職員給与
社会保険料	4,000,000		4,000,000		4,000,000	社会保険料・労働保険料
手当計	4,650,000		4,650,000		4,650,000	職員諸手当・賞与
健康診断費	130,000		130,000		130,000	健康診断料
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額			0		0	
その他			0		0	
事務費	410,000	0	410,000	0	410,000	
旅費	50,000		50,000		50,000	研修等旅費交通費
消耗品費	50,000		50,000		50,000	事務用品費等
会議滞在費			0		0	
印刷製本費	10,000		10,000		10,000	封筒印刷代
通信費	220,000		220,000		220,000	NTT・携帯電話・ネットプロバイダ・郵便代
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険			0		0	
職員等研修費	50,000		50,000		50,000	研修研究費等
振込手数料	20,000		20,000		20,000	銀行振込手数料
リース料	10,000		10,000		10,000	AEDリース・複合機リース料
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	
その他			0		0	
事業費	1,234,000	0	1,234,000	0	1,234,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	150,000		150,000		150,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0		0		0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	300,000		300,000		300,000	
その他			0		0	
管理費	2,015,204	0	2,015,204	0	2,015,204	
光熱水費	970,000		970,000		970,000	
清掃費	170,000		170,000		170,000	
機械警備費	150,000		150,000		150,000	(セコム)
設備保全費	410,000	0	410,000	0	410,000	
空調衛生設備保守	100,000		100,000		100,000	(六華)
消防設備保守	100,000		100,000		100,000	(六華)
電気設備保守	100,000		100,000		100,000	(六華)
害虫駆除清掃保守	50,000		50,000		50,000	(六華)
駐車場設備保全費	50,000		50,000		50,000	(六華)
その他保全費	10,000		10,000		10,000	(六華)(横浜エレベーター)(パナソニックEWエンジン)
共益費			0		0	
その他	315,204		315,204		315,204	ごみルート回収
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	32,368,004	0	32,368,004	0	32,368,004	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	604,000	0	604,000	0	604,000	
自主事業 収支	△ 604,000	0	△ 604,000	0	△ 604,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和5年度 横浜市十日市場地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市十日市場地

<シートの保護について>
このシートに保護はかけていません。行・列の挿入・削除も可能です。

この事業区分により難い場合は、列の追加や統合をしていただいで結構です。

年4月1日～ 年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入			0	7,490		7,490	21,910		21,910	65,120		65,120	8,670		8,670
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,700	0	15,700	-8,370	0	-8,670
	事業・負担金収入			0			0			0	6,190		6,190			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	(通所に1号分を合算)			0			0			0	8,670		8,670	-8,670		-8,670
	その他			0			0			0	840		840			0
	収入合計(A)	0	0	0	7,490	0	7,490	21,910	0	21,910	80,820	0	80,820	300	0	300
支出	人件費			0	4,970		4,970	17,570		17,570	60,270		60,270			0
	事務費			0	300		300	1,250		1,250	8,470		8,470			0
	事業費			0	330		330			0	6,670		6,670			0
	管理費			0	330		330			0	4,860		4,860			0
	その他			0	1,100	0	1,100	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0	1,100		1,100			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
支出合計(B)	0	0	0	7,030	0	7,030	18,820	0	18,820	80,270	0	80,270	0	0	0	
収支 (A) - (B)	0	0	0	460	0	460	3,090	0	3,090	550	0	550	300	0	300	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和5年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業			1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることを			4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）		ねらいとした事業			7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	ごきげんくらぶ	平成13年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域の65歳以上の方を対象とした介護予防・閉じこもり予防のミニサービス。 地域住民のボランティア・職員が支援をしながら、参加者が中心となって季節イベントやゲームを通して生きがい作りへと繋げている。参加する「場」、話し・笑い合える「つながり」、ボランティア参加の「機会」とする。	1：高齢者		地域の高齢者を対象としたミニサービスとして開催。 月2回第2、4金曜日開催予定 (13:30～15:00)		
2	よちよち園B	平成18年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	未就園・未就学児を抱える母親の虐待や育児放棄などを、予防するきっかけとして、参加の機会を提供して交流を図る子育て支援事業。 遊び場としてフリースペースや休憩場所、身長体重測定コーナーなどの「場」の提供を通じて、親子交流の場と共に、親同士・子同士が知り合う場としての活用を目的とする。	3：養育者及び乳幼児		主に0～5歳の親子支援として場の提供を実施。登録の必要なし。フリースペース。(祝日は休み) 月1回第2月曜日開催予定 (10:00～11:30)事前申込制		
3	よちよち園S	平成18年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	おおむね0～1歳の第一子親子が外出する機会・場が少なく孤立しがちであるため参加対象を限定し、乳児が安心して参加でき同世代の子どもを持った親同士の交流を目的。	3：養育者及び乳幼児		主に0～1歳(歩く前まで)の親子を対象としたお話・集いの場。 月1回第4木曜日開催予定 (10:00～11:30)事前申込制		
4	よちよち園A	平成19年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	未就園・未就学児を抱える母親の虐待や育児放棄などを参加の機会を提供することにより、予防するきっかけとしての子育て支援事業。親子交流の場と共に、親同士・子同士が知り合う場として活用を目的とする。集団活動になれることや自身の子育てについて振り返る機会なども提供している。	3：養育者及び乳幼児		1歳以上の親子への支援として、プログラム及びミニサロンを実施。 月1回第3木曜日開催予定 (10:00～11:30)事前申込制		
5	こどものいばしょ「こども村」	平成30年度	7：共催（1と2と3）	2：発展させるねらい	「子どもの支援に限らず、担い手発掘も含めた高齢者等の活躍の場の確保、多世代交流なども視野に入れた「こどもの居場所」の設置を目指す」ことを目的。	4：子ども・青少年		昇降機をびざや補助柵、遊び道具を部屋に置き、自由に交流ができるスペースを設置。宿題を行ったり休んだりすることもできる場所として実施。 第2・4水曜日開催予定 15:00～17:00		
6	十日市場ハロウィン	平成29年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域住民の方々にハロウィンイベントを通じて、ケアプラザを含めた十日市場駅周辺公共施設などの周知と地域活性化を図る。	5：地域		参加施設主催のスタンブラリーや各施設で催しを実施。 年1回10月開催予定		
7	コーディネーターハウス	平成29年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	緑区の方に地域活動交流事業について知っていただくことを目的	5：地域		緑区地域活動交流コーディネーターによるケアプラザ・地域活動交流の事業を緑区役所でパネル等で紹介。2月開催予定		
8	クリスマス会	平成25年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域の方々が、コンサート(音楽やおはなし会)を通じ、年代を超えた交流を図っていただくことを目的。	5：地域		歌や演奏、おはなし会を交えたコンサートを実施。 年1回12月開催予定		
9	笑顔をつなぐ食支援	令和2年度	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	新型コロナウイルスの影響で、食べる物に困っている方を対象に、保存ができる食品の配布	5：地域		提供食品の寄付募集と食品を受け取りたい方を募集し、受け渡しを行う 不定期開催予定		
10	バザーフェスタ2023	令和5年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	福祉保健活動団体・ボランティア活動団体と地域作業所、複合施設によるバザーフェスタ。それぞれの団体の活動内容を地域の方に知っていただくと共に、地域の方との交流を目的とする。	5：地域		地域ボランティア団体や地域作業所などと商品販売やイベントを開催。 地域住民の方々の交流を図る。 年1回11月開催予定		
11	夏休み子供体験講座	令和3年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	子供たちに自ら自由に発想する能力を伸ばすとともに、問題の解決や探求行動に主体的、創造的に取り組む姿勢、さらに個人の創造や表現を互いに尊重する気持を身に付けてもらう目的	4：子ども・青少年		著作権に関する講座と段ボール等を用いて自由工作を実施予定 年1回7月開催予定		
12	介護者のつどい「たんぼぼ」	平成17年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	普段介護をしている方や介護経験のある方同士での交流を通して気持ちの共有やリフレッシュ、介護経験者による経験談や助言をもらう会。また、介護をしている方自身の健康づくり、介護予防のため、年に数回健康講座等を行う。その際には地域住民にも参加を呼びかけ健康や介護に対する理解、助け合い等啓発することを狙いとしている。	5：地域		介護をしている方、介護に興味のある方を対象とした茶話会を企画している。 年間11回開催予定(8月、祝日は休み) 第2水曜日 13:30～15:00		

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業			1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることを			4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）		ねらいとした事業			7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
13	暮らしを守る講座	平成19年度	4：共催（1と2）	1：優先的に取り組み	防災、防犯、成年後見制度、虐待防止等の講座を通して、身を守る為の情報や知識を得ることで、安心して地域で暮らしたいことを目的とする。	1：高齢者		専門家を講師とした悪質商法の様々な手口や防犯、成年後見制度等、安心して地域で暮らしたい為の講話や寸劇。 年間2回開催予定		
14	施設利用団体交流会	平成22年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	ケアプラザを利用している団体同士の交流と意見交換会を目的として行い、地域の担い手の発掘、ネットワーク作りを目的とする。	5：地域		横浜川真路ターミナルについての説明や貸し館利用時の緊急避難についてや貸し館利用時の使用について、担当地区で作成する地域情報サイトについてなどの意見交換を行う。 年間1回開催予定		
15	おげんきチェック	平成24年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域住民を対象にバイタルサイン測定と健康講座や介護予防の体操を行い、健康増進・介護予防を図ることを目的とする。また顔の見える関係づくりを地域支援に活かす。	5：地域	1	・血圧測定、握力測定、体組成計、ベンチチェック、健康講座 ・毎月第1金曜日 9:30～11:00		
16	元気のわ	平成25年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域の高齢者が定期的に認知症予防や介護予防を目的とした活動を継続することができる。	1：高齢者	5	・認知症予防(スリーA)介護予防、フレイル予防、ゲーム、体操、茶話会、ポッチャなど ・毎月第2-第4火曜日13:30～15:30		
17	認知症サポーター養成講座	令和4年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	地域で活動されている認知症キャラバンメイトの方々と共に、認知症の病気についてや接し方などを学び、地域の方々に認知症の方々を見守る認知症サポーターになっていただくことを目的。	5：地域		認知症の病気の症状についてや接し方、気をつけることなどを伝えたり、寸劇を交えて認知症についての理解を深める。		
18	ゆるふわ親子体操	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子育て支援アンケートでニーズの多かった親子で交流しながら体を動かし、交流を図ることを目的	3：養育者及び乳幼児		講師依頼を行い、親子で触れ合いながら体操を行う 10月から第4月曜日10:30～11:30		
19	たのしく学ぼう スマホ講座	令和3年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	地域の方々にスマートフォンの使い方を教えていただき、生活でのより便利な活用や地域ケアプラザを知っていただきツールとしての活用をしていただくことを目的	5：地域		スマートフォンの簡単な活用方法を学ぶ 9月か10月開催予定		
20	十日市場ヤーンボミング	令和4年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	毛糸を活用し、地域の方に編んでいただき、町の木にかざり、町ぐるみで取り組みを通じ、つながりやボランティア機会を体験していただくことを目的。	5：地域		毛糸を活用して、個人や地域の中で編む。 11月～12月に開催予定。		
21	SDGsについて楽しく学んでみよう	令和4年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	SDGsを知りたい方、地域でつながりたい方と一緒に考える講座 カードを使ってゲーム方式で多世代交流を図りながら学ぶ。	5：地域		カードを使ってゲーム方式でSDGsについて学ぶ。		
22	いつまでも自分の足で歩こう！～杖・歩行器を活用して～	令和5年度	3：生活支援体制整備事業	2：発展させるねらい	①歩きづらくなっても杖や歩行器を使用することで、いつまでも自分の足で歩く選択肢があることを知る。 ②福祉用具の利用手順を理解し、相談先が分かる。	1：高齢者		講師より、歩く(ウォーキング)効果を解説し、歩くための福祉用具を紹介していただく。利用(レンタル・購入)方法や、活用方法も併せてお伝えし、講座終了後には、福祉用具体験会・相談会を行う。6月2日(金)開		
23	介護セミナー～介護制度を知ることのできる正しい備えを～	令和5年度	3：生活支援体制整備事業	2：発展させるねらい	①介護にお金がかかることや、適切に備えておけば費用負担が減ることを気付く機会とする ②介護×お金の話に地域住民が関心を持っているのか、他にはどういったテーマに関心があるのかを探索する ③40～50代が地域ケアプラザと関わりを持つ機会の創出	5：地域		介護状態になった場合の費用負担をシミュレーションし、ある程度のお金の備えが必要を知っていただく機会とする。併せて介護予防によって、結果的に費用負担が減ることも気付いていただく。8月26日(土)開催。		
25	びちびち健康教室出張版	令和5年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	・フレイル予防(ロコモ予防・口腔機能向上・栄養改善)、認知症予防について、身近な場所でまなぶことができる。	1：高齢者		ヒルタウンのお茶飲み会でフレイル予防、認知症予防等講座を開催する。		
26	多世代カフェ	令和5年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域住民同士が集うことにより、つながりを作ることを目的しながら、お互いの悩みや困っていることを相談したり、解決していける場として活用できる。	5：地域		地域カフェを開催する。 10月以降開催予定		
27	介護保険制度の理解	令和4年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	地域住民や地域で活動されている方へ介護保険制度などの案内をする事で、理解促進を促し、地域包括ケアシステムの推進を図る	5：地域		7月に新治西部地区友愛活動員に講座を実施		